

MILKYWAVE Jazz Live 2016

Nomura Ayano 4

— — *Nomura Ayano Quartet* — — —

宮地 スグル Suguru Miyaji (ts)

天野 丘 Takashi Amano (g)

安田 幸司 Koji Yasuda (b)

野村綾乃 Ayano Nomura (ds)

「ジャズは生演奏が命、会話を楽しみたい」を信条に、アコースティックなジャズを演奏している。(野村)



2016年 11月19日(土)

開場 18:00 / 開演 19:00

前売 ¥3,500 当日 ¥4,000 学生 ¥3,000

(いずれも1ドリンク・税込みの金額です)

■ 前売チケットあります ■ 電話での予約も承っております ■ 当日はお食事も出来ます ■ 詳しくはスタッフまで

お問い合わせ：ミルキーウェイブ 川越市志多町17-2 049-222-1101

..... **MILKYWAVE** 営業時間 / Open 11:00 A.M. ~ Close 10:00 P.M. 定休日 / 月曜日(祭日除)



■ 宮地 スグル (ts)

1965年12月15日 神戸生まれ。

ジャズ好きの両親の影響で幼少よりジャズを聴いて育つ。6歳でエレクトーンを学び、15歳でサックスを始める。関西学院大在学中よりプロ活動を小曽根啓氏の元で始め、90年、同大学を中退して米国ボストンのバークリー音大に奨学金を得て留学。この頃、ジェリー・バーガンジ氏(ts)に師事し、氏の即興演奏メソッドを全て習得。また、タイガー大越氏(tp)と親交を深め、多大なる影響を受ける。93年卒業後は居をNYに構え、エブリン・ブレイキー(vo)、ティト・ブエンテ(timb)、ブルース・バース(p)、ホルヘ・ロッシー(ds)、ジョン・ステッチ(p)、井上陽介(b)、中村健吾(b)各氏と共演。96年に帰国後は首都圏で活動を始め、向井滋春(tb)、大森明(as)、バイソン片山(ds)、池田芳夫(b)、小林陽一(ds)各氏と共演。様々なセッションを経て“宮地傑5”を結成。アルバム「Weather Eyes」('00)、「Futuer Swing」('01)をリリース。NHK「セッション505」などに出演。ジャズ・ライフなどの雑誌やオーディオの専門誌にも活動が取り上げられる。

2002年、“NEW4TET”を結成。アルバム「Be Water」('03)をリリース。全編打ち込みによる初のエレクトリック・アルバム「Beats'n'Colors」('04)をリリース。2007年、“NEW4TET”「Eternity」をリリース。

2012年10月、シアタークリエに於けるミュージカル「デュエット」で演奏、同年12月、宮地スグル名義のアルバム「The Grooves Around the Globe」リリース。2013年3月、NHK・BS1「エル・ムンド」に“SOULOGIC”の一員として2日間にわたり出演。

■ 天野 丘 (g)

1963年6月25日生まれ。AB型。

中学生の頃よりギターを始め、その後Roots音楽院で沢田駿吾に師事。後に三好功郎のアシスタントを勤めながら、自己のトリオを結成。首都圏ライブハウスで、演奏活動をスタートする。

今までに、鈴木勲(b)ファミリー、井上淑彦(ts)、大友義雄(as)、福井五十雄(b)、塩本彰(g)スモール・オーケストラ、大野えり(vo)、中西隆(p)、小島のり子(fl)、仲宗根かほる(vo)、寺井尚子(vln)カルメンマキ(vo)等と共演。

現在は自己のジャズ・トリオや、ロック/ファンク色の濃いバンド『The Ossan Band』、『zephyr(田口悌治=井上淑彦=天野丘)』での活動を軸に様々なセッションで活動。

また、日本工学院八王子専門学校ミュージックカレッジでは、ギター、音楽理論、作編曲の講義を持ち、後進の指導にあたっている。

著作関係では現在シンコーミュージック刊「ヤングギター」に連載『The Incredible Jazz Guitarists』、リットーミュージック社刊行のロングセラー教則本「初めてのジャズ・ギター」「同レパートリー強化編」「弾けちゃう!ジャズギター」の著者としても知られている。

■ 安田 幸司 (Bass)

1976年11月3日生まれ。O型。

千葉大学入学と同時にベースをはじめ。山下弘治氏に師事。在学中から同世代のミュージシャンとセッションを重ねるかわら、小林陽一&グッドフェローズに引き抜かれたことをきっかけに本格的に活動を開始。その後、岡崎好朗、大坂昌彦、太田剣、河村英樹、海野雅威、等と共演を重ねる。強いビート感とサウンドを支えるプレイが好評。昨年(2009年)は、川嶋哲郎、熊谷ヤスマサ、川崎太一朗のレコーディングに参加。

そのほか現在、TOKU、石田衛、田窪寛之、田村和夫、山田貴子、福井亜実、のグループ等で精力的に活動中。

■ 野村 綾乃 (Drums)

千葉県市原市出身。4歳よりピアノを始める。高校のブラスバンドでパーカッションを担当。武蔵野美術大学建築学科に入学と同時にジャズ研に入部し、ジャズ・ドラムを始める。同期である三木成能(p)や海道雄高(b)らとライブ活動を行う。大学4年の頃から大坂昌彦氏に師事。1998年「ジャズ新鮮組」(kingrecords)のレコーディングに参加。

同年、女性だけのカルテット(堤智恵子(as)野本晴美(p)高田恵(b))を率いてジャズフェスやイベント、ジャズクラブなどで活動する。その後、大山日出男(as)、高橋知己(ts)、中村誠一(ts)、池田篤(as)、井上祐一(p)、等と共演、ライブでいろいろ学ぶ。

2007年、竜野みち子(p)率いるLa-Gent(増田ひろみ(as)Stan Gilbert(b))のアルバム「Animal World」に参加。ゲストにErnie Watts(sax)を迎え、アメリカL.A.にて録音する。

他にも「Time after time / 西川慶子(vo)」 「NGJ live / 高橋聡(p)」 「QBism / Queen's Bee」 「ADOSA / 旧橋壮(ts)」 「Ani Jazz Combo / 野口茜(p)」 「連舞 / 久保島直樹(p)」などのレコーディングに参加している。

現在は、都内のジャズクラブを中心に、自己のバンドから様々なセッションまで意欲的に活動中。

「ジャズは生演奏が命、会話を楽しみたい」を信条に、アコースティックなジャズを大切に演奏している。